

いっしょに読もう！新聞コンクール

廣瀬さん(上庄小)ら3人奨励賞



日本新聞協会が14日発表した「第11回いっしょに読もう！新聞コンクール」では、個人の奨励賞に廣瀬史織さん(大野市上庄小4



廣瀬史織さん

年)、善藤芽生さん(同6年)、橋詰瑠音さん(越前市万葉中2年)の3人の作品が選ばれた。【1面に本記】

廣瀬さんは、水の大切さを伝えるボードゲームを本紙の記者が体験した記事テーマにした。大野市が西アフリカにあるベナンの市などと共同で開発したもので、作品では「世界には水で困っているところがある



善藤芽生さん

ことを知った。私もできることから始めたい。ありがたいの気持ちを持って使いたい」と記した。

善藤さんは被爆の惨状を描いた「原爆の凶」の記事を選んだ。「あまりにも絵が悲惨だから」と絵が教科書から削除されたエピソードに触れ、「戦争を二度としないためには、私たちの世代が戦争を知るしか方法



橋詰瑠音さん

はない」と自分の考えを書いた。

橋詰さんは目が不自由な画家の記事を読んだ。絵を描く仕事を志している自身と重ねながら「一人ひとり違うから人々に認められる」「作品は人生と鏡映し」などと考え、「自分のスタイルを見つけない」と意欲をつづった。

個人賞は、県内の3点を含み奨励賞120点以外に最優秀賞3点、優秀賞30点を選定した。団体の学校奨励賞は158校が選ばれた。日本新聞協会の各賞に加

え、福井県NIE推進協議会賞20点、同協議会奨励賞244点も決まった。入賞者は12月20日付の紙面で紹介する。(大西崇弘)

県内の学校奨励賞は次の通り。福井市麻生津小、越前市南中山小、大野市上庄小、勝山市荒土小、同市平泉寺小、同市村岡小、坂井市磯部小、同市雄島小、鯖江市片上小、池田小、越前町糸生小、同町四ヶ浦小、福井市至民中、あわら市金津中、越前市南越中、同市万葉中、勝山北部中、敦賀市東浦中、金津高、武生商高・武生商工高商業キャンパス、武生東高、啓新高、北陸中・高